

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境市民厚生分科会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	小野
日 時	令和3年8月11日(水曜日)	開 議	午前 11 時 56 分
		閉 議	午後 0 時 27 分
出席委員	◎平本 ○三宅 長澤 富谷 大塚 並河 竹田 (福井) (欠席:西口)		
事務局	山内事務局長、小野主任		
傍聴者	市民 0名	報道関係者 0名	議員 1名(小川)

会 議 の 概 要

1 開会

2 事務事業評価対象事業の選定

<平本委員長>

事務事業評価の実施方法などについて、事務局から説明を。

[事務局主任説明]

<平本委員長>

前回の分科会で、各委員に対象事業の抽出をお願いした。今回は、各委員が事前に抽出した内容を記載した資料を配付しているので、その資料に基づき、各委員から抽出した理由、論点とされたい点などを報告願う。

<長澤委員>

環境市民部P2、環境保全対策経費について、議会から提案したポイ捨て等禁止条例が昨年8月に施行され、この1年の状況はどうであったか、課題は何であったかということ論点としたい。特にポイ捨て防止重点地域の運用について議論したいと考えている。次に健康福祉部P16、法内扶助費について、近年、亀岡市では、生活保護受給世帯が毎年減少しており、特に母子世帯や働き手のいる世帯が減少している。利用者や相談者にとって最善な対応をした結果、このような状況になっているのであれば受け入れられるが、そのような対応ができているのか事務事業評価という形で検証したい。

<大塚委員>

環境市民部P9、ごみ減量・資源化等推進事業経費について、去年から試行的に行われている埋立てごみ中間処理事業は、ごみの資源化率向上や埋め立て処分場の延命など、いろいろな目的のために行われているが、課題も見えてきているので、今の実施方法でよいのか評価を行いたい。

<三宅副委員長>

環境市民部P2、環境保全対策経費について、不法投棄対策の取組について評価を行いたい。次に、環境市民部P3、環境先進都市推進事業経費について、レジ袋の提供禁止に関する条例に関する事業やリユース食器の利用促進について評価を行いたい。

<平本委員長>

環境市民部P7、浄化槽設置整備事業経費について、一定浄化槽の整備ができたので

はないかと考える。健康福祉部P15、生活保護運営対策経費については、長澤委員が提案された法内扶助費も含め、コロナ禍で生活保護を申請される方が増えているのではないかと考え、生活保護の重要性を再検証した上で、事業の評価を行いたい。こども未来部P7、子ども・子育て支援経費については、本委員会として、子どもの貧困対策に積極的に取り組んでいただきたいと要望も行ってきた中で、どのように事業に反映されているか評価したい。次に、各委員に説明いただいた事業の中から3項目程度に絞っていきたいと思う。選定するにあたり私から提案であるが、環境先進都市推進事業経費の内容は、環境保全対策経費と重複する部分があるため、環境保全対策経費に一本化し、評価を行う過程で内容を確認してはどうか。

—了—

<平本委員長>

次に、法内扶助費と生活保護運営対策経費は、生活保護制度に関する経費であるため、生活保護運営対策経費に一本化してもよいか。

—了—

<平本委員長>

ごみ減量・資源化等推進事業経費は、昨年度途中から始まった事業であるが、事務事業評価の項目として挙げることに意見はないか。

<竹田委員>

大塚委員の提案理由は理解するが、令和3年度から本格的に実施されている事業であるため、委員長の意見のとおり、もう少し事業の経過を見定めた上で評価してもよいのではないかと思う。

<大塚委員>

今回の項目からは取り下げる。

<平本委員長>

浄化槽設置整備経費を抽出したが、浄化槽の必要性は検討する余地があると思うので、今回の項目からは取り下げる。現在、環境関連、福祉関連の項目が挙がっているが、もう1項目を子ども・子育て支援経費としてはどうか。

—了—

<事務局主任>

子ども・子育て支援経費は、事業の範囲が広いので、ある程度絞り込んでどうか。

<平本委員長>

4事業挙がっているが、意見はあるか。

<三宅副委員長>

子どもの貧困実態調査・計画策定業務委託料としてはどうか。

<並河委員>

それぞれが予算規模の大きい事業ではないので、複数の事業を組み合わせてはどうか。

<竹田委員>

他の事業は既存の子育て事業であるため、子どもの貧困問題と関連しているが、合わせにくいのではないか。それであれば、子どもの貧困実態調査・計画策定業務委託料に一本化して、その中で今後の事業展開も含めて評価する方がよいのではないか。

<並河委員>

「子どもの貧困とは何か」ということがテーマであると思うので、そういった内容の議論ができるのであれば、複数の事業を選定することにこだわらない。

<平本委員長>

それでは、環境市民厚生常任委員会として、子どもの貧困問題について取り組んでき

た。これまで実態調査などを行い計画策定されるという説明は受けてきたが、その後の進捗状況やどのように予算が活用されたかを確認したいと思うがどうか。

—了—

3 その他

<平本委員長>

次回の日程について、事務局から説明を。

<事務局主任>

事前の勉強会や論点整理には、実際に使用する調書でもって行うのが望ましい。当日の資料（評価調書）を早めに提出してもらうよう執行機関と調整しており、その調書の提出を待って勉強会や論点整理を行ってはどうか。次回開催日程を決定願いたい。

<平本委員長>

次回の開催日は、勉強会を8月25日（水）午前10時から、論点整理を9月13日（月）の議案審査後としてよいか。

—了—

散会 ～12:27